

# 6月議会報告

いったい、武内市政と市議会は、市民の声に耳を傾け、寄り添う気持ちはあるのか。初代門司駅関連遺構を事実上、取り壊す一般会計補正予算案が6月14日の市議会で、賛成多数で可決。日本共産党は現地保存を求め予算案に反対しました。24日には、遺構周辺の掘削工事が再開されました。遺構の破壊・損壊が現実のものとなっています。

特定利用空港問題でも受け入れを断った自治体があることに目を向けることなく、市は「防衛問題は国の専管事項」と繰り返すだけ。有事を想定した訓練も予定されています。

「戦争の悲惨さ、平和の尊さを、次の世代に伝え、核兵器のない、戦争のない、平和な世界を築いていかなければなりません」。2010年2月、北九州市は「非核平和都市宣言」で、こう高らかに宣言しました。北九州市民の声、そして歴史の声に、北九州市は謙虚に耳を傾けるべきです。

くらし豊かに

## 市民の声と願い 届けてきました

### 産後ケア事業 いずれも半額に

産後の悩みや不安を抱えるママを、助産師等がサポートする「産後ケア事業」の利用料が半額になります。実施は秋以降のため、今年4月以降の利用料はさかのぼって返金されます。

永井佑議員が2022年12月議会で市に産後ケアの利用料減額、母子手帳への記載を提案していました。母子手帳への記載はすでに改善され、助産師や利用者などから「すごい!声を届けてくれてうれしい」「物価が上がる中、本当に助かります」などの声が寄せられています。

### <料金の一例>

- 宿泊型 6,000円→3,000円
- 通所型 2,000円→1,000円
- 居宅訪問2,000円→1,000円

改善、実現しました

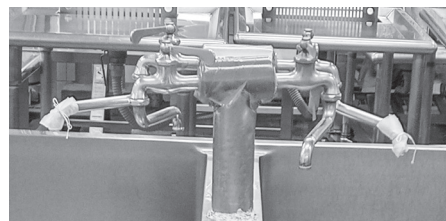
### 北九大で防衛問題セミナー 市民から疑問の声

6月28日に北九州市立大学での開催予定だった防衛問題セミナーが会場の天井落下のため、開催が延期となりました。市民から「なぜ大学を会場とするのか」「学術会議問題や大学の自治が圧殺された歴史を考えると、不安を覚える」などの声も上がっていました。北九州市立大学の戸蔭仁司准教授、防衛省九州防衛局の企画部長が「戦略3文書の概要」をテーマに報告する予定でした。

### 八幡西特別支援学校 水道管改修決定

#### 給食調理室の水道水に鉄さび混入問題

八幡西特別支援学校の調理室の水道水に小さな鉄さびが混入していたことが市議団の調査で明らかになりました。同学校では、水道水に鉄さびの混入が約10年間にわたって続いており、調理員が10数カ所の蛇口に毎日、タコ糸で「お茶パック」を設置するなど対応していたことも判明しました。



### 126校中、25校で発生

6月議会で高橋市議は、学校施設課に対し、安全性の確保と水道管の改修、鉄さび混入の実態調査を要求しました。

質問後、施設課は市内126校のうち、25校で鉄さびが発生していること、このうち12校が毎日、13校が時々発生していることを明らかにしました。

八幡西特別支援学校は築40年を経過、老朽化が進み、今年の夏休みに水道管の改修を行うことを決定。また、小倉北特別支援学校、守恒、東朽網、江川の各小学校は大規模改修等で改善される予定です。

### 会派質疑

#### 市民に身近な雑草問題

2月議会では公園、道路、河川の草刈りを年2回から1回に減らす市長の予算提案に対し、議会は組替動議を圧倒的賛成多数で可決しました。



藤沢かよ 議員

今議会の一般会計補正予算で前年度同水準の予算額に修正しましたが、この事態を市長はどのように受け止めたかという質問にはまったく答えようとしませんでした。また「来年度以降にこの予算を確保するのか」の質問に対して、市は「雑草を生えなくする防草対策へシフトする」と答弁。地球温暖化をさらに加速させるような手法は用いることがないよう注視していく必要があります。

#### 「性能規定型道路除草管理」制度の導入を

雑草の高さを40cm以下に維持する沖縄県の制度を紹介し、本市でも導入の検討を求めました。年間を通して良好な沿道景観の形成を維持し、事業者の仕事を持続的なものとする制度です。市は、「今後の参考にしたい」と答えました。

### 一般質問

#### 防災対策を強く要望

能登半島地震から5カ月たった今も震災直後のような状況が続いていることに触れ、市の防災計画、被害想定の見直し、住宅の耐震強化、水道の耐震強化、体育館への空調設備の設置などを強く求めました。



伊藤淳一 議員

#### 訪問介護基本報酬の引下げ撤回を

4月から訪問介護の基本報酬引き下げについて、利用者が必要なサービスを受けられなくなり、「本末転倒な状況が今後も続くことになる」と厳しく指摘。基本報酬引き下げ撤回を市として国に強く求めることを要求しました。

介護事業所への市の独自支援については何も答えず「支援の必要な状況があれば、国に要望する」と答えただけでした。

### 一般質問

#### 脆弱な文化財行政

これまで北九州市の文化財行政は、移築保存の考え方ひとつとってもその場しのぎの対応策ばかりです。



高橋都 議員

今後、開発ありきの市長部局ではなく独立した教育委員会に文化財保護事務を戻し、文化財保護審議会の専門的知見を活かした提案が建議できるよう条例改正を求めましたが、「考えていない」との答弁でした。門司の歴史を知る生きた教材が発見されています。文化財保護法の趣旨に沿うよう、適切に保存・活用すべきです。

#### 正面から向き合わないまま議決

最初からこの遺構は残さずに壊し、そこに複合公共施設を建てるという計画のもと、今回の補正予算が計上されています。この議案に対して、どういう判断をするのか、私たち議会の責任は重い、と訴えました。

### 一般質問

#### 特定利用空港 選定問題 市長、答弁に立たず

北九州空港の特定利用空港問題、北九州市立大学の運営のあり方などについて質問。特定利用空港問題では、「選定」にあたり国に意見を言わなかったのはなぜか。存立危機事態などになった場合、北九州空港と市民にも大規模な被害が予想されるが、市民の生命財産を守るべき市長としての見解はどうか一などと追及しました。市長は答弁に立つことなく、総務市民局長、港湾空港局長、危機管理監、それぞれが「国の専管事項」と繰り返すだけでした。



大石正信 議員

#### 北九州市立大学の運営のあり方

また「新たな戦略3文書の概要について」をテーマにした防衛セミナーが北九州市立大学の学内で開催されようとしていることに触れ、事実を把握しているのか、ただしました。政策局長は「大学の会議室を貸して行うことは大学の判断」と答えるだけでした。

FOR ONE MILLION SMILES

# 100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2024.7.3

No.586

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL (093) 582-2646 FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団ホームページ⇒



# 初代門司駅関連遺構

# 市民の声聞かず 破壊強行



▲2度目の現地視察(6月14日)を行う市議員



初代門司駅関連遺構が埋まっている可能性が指摘されているエリアで予定していた掘削工事が、現地に集まった市民らの抗議を受け、JR九州は6月24日、工事をいったん中止・延期しました。しかし、翌25日には工事再開を強行。市民らは、この日も工事現場に集まり、「壊さないで、初代門司駅跡」などと書かれたプラスターを掲げ、工事の中止を求めました。

この遺構は、複合公共施設建設に向けた昨年3月の第1回試掘調査で、機関車庫の基礎が出土。その後の現地説明会(23年11月19日)には、500人の市民らが来場。以降、鉄道史学会、都市史学会、さらには日本イコモス委員会などが現地保存を求めてきました。

修正動議を可決した市議会も6月14日の本会議で、関連遺構の破壊に直結する補正予算案を可決。日本共産党は現地保存を強く求めました。

## 遺構破壊ノリ 共産党「現地保存」を主張

すべての議員一人ひとりに問います。私たちはこのまま、文化を壊し、歴史を壊す道を選んでしまっているのでしょうか。専門家の声を聞かず、広く市民に問いかけずに。

遺構の破壊に関する予算の反対討論に立った永井佑議員は、討論の冒頭、すべての議員に問いかけました。北九州市は門司区で出た鉄道遺構を破壊し、その上に区役所などが入る複合施設を建設する計画です。

そもそも我が党は、高潮浸水区域のこの場所での防災拠点となるべき区役所建設に反対の立場です。遺構の発掘調査が終わらず、保存方法の議論もされていないのに、今議会での建設予算提出はあまりにも拙速です。

文化財保護法では「文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もつて国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする」とされています。



しかし北九州市は誰の意見も聞かず、市長部局だけの判断で開発を優先し、貴重な遺構を破壊しようとする乱暴な文化財保護行政の実態を全国に知らしめることになりました。

初代門司駅遺構は、北九州だけでなく、日本の近代産業の形成過程をも知る手掛かりとなるものです。だからこそ有識者や様々な学会が「国史跡級」とその価値を高く評価しているのです。初代門司駅遺構の現地保存は、歴史に対する私たちの責務でもあります。

## 現地保存求め 反対討論

## 意見書提案



6月議会では、国などに対する意見書が日本共産党提出の4件を含め計14件提出されました。

日本共産党の意見書について、出口成信議員が提案理由を説明。採決の結果は下の表の通りです。国民が政府や国会の対応を注視している重要な問題に対する各党・会派の立場が問われています。

## 6月議会 意見書・決議採択結果

6月議会	日本共産党提出意見書・決議に対する主な会派賛否表	日本共産党	無所属の会	自民党	公明党	ハートフル	日本維新の会	自民未来	結果
		議員数							
	大阪・関西万博の中止を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	否決
	地方自治法改正法案に係る「国の補充的指示」の慎重審議を求める意見書	○	×	×	×	○	×	×	否決
	裏金事件の真相解明と政治資金規正法の抜本的改正を求める意見書	○	×	×	×	×	○	×	否決
	共同親権導入の撤回を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	否決



全ての意見書に対する賛否はこちらから

日本共産党各議員の常任委員会配置 (◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員)

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
大石 正信	高橋 都	◎永井 佑 藤沢 加代	荒川 徹 伊藤 淳一	出口 成信	☆○山内 涼成

## 初代門司駅関連遺構をめぐる動き

年	月 日	初代門司駅をめぐる動き	備考
2023年	3月8~10日	第1回試掘調査	基幹車庫の基礎が出土。発掘調査が必要と判断される。
	9月~11月	旧門司駅舎跡の発掘調査	
	11月19日	現地説明会	500人が来場
2024年	1月10日	鉄道史学会、都市史学会	遺構の現地保存を要望
	1月25日	武内市長が会見	遺構の一部移築を公表
	2月19日	建築史学会	遺構の現地保存を要望
	2月29日	日本イコモス国内委員会	遺構の保存要望報告を文部科学大臣、文化庁長官、福岡県知事に提出
	3月8日	北九州市議会	一部移築保存費用を補正予算から削除する修正動議を賛成多数で可決。
	3月16日	初代門司駅関連遺構の保存を求める会シンポジウム開催	市民ら270人が参加
	6月14日	北九州市議会	遺構解体に直結する補正予算案を本会議で可決
	6月25日	イコモス	関連遺構の取り壊しについて、「重大な懸念」を表明。ヘリテージアラートの発出にも言及

## 初代門司駅関連遺構の保存を求め、文科大臣、文化庁長官、福岡県知事らに合同要望書を提出した11団体

九州近現代考古学談話会、九州考古学会、九州産業遺産研究会、建築史学会、考古学研究会、産業遺産学会、鉄道史学会、都市史学会、日本イコモス国内委員会、日本考古学協会、文化財保存全国協議会

■イコモス(国際記念物遺跡会議)とは 世界の歴史的な建造物、文化遺産、及び遺跡の保存に関わる専門家の国際的な非政府組織で、ユネスコの諮問機関。

■ヘリテージアラートとは 保全・継承を促進し、文化的遺産が直面している危機に対し、学術的観点から問題を指摘し、未来世代に向けた保全と警鐘に向けた解決策を促進するために発する声明